

# 反省・お詫びはもういい



# 米軍は、日本から出ていけ

沖縄復帰以降、40年間で米兵による刑法犯検挙件数は、5、790件

米海兵隊主要基地での  
性暴力発生率

(兵士1000人当たりの申告件数)

沖縄	4.1
岩国	3.3
29バームス(西海岸)	2.3
カネオヘ・ベイ(ハワイ)	2.0
キャンプ・レジュン(東海岸)	1.7
キャンプ・ベンドルトン(西海岸)	1.5
チェリーポイント(東海岸)	1.5

(11年米国防総省・海軍省資料を基に)

繰り返される暴行事件に、私たちは満身の怒りをこめて、強く抗議するものです。



沖縄は復帰(1972年)以降40年間で、米兵による刑法犯検挙件数が5790件も発生しています。憲法を踏みしめる日常を創りだし、地域を脅かし、平和な地域振興を阻害し、住民の安全を奪う米軍基地は、沖縄からそして日本から出ていくしかありません。

## 住民の安全脅かす米軍基地

危険なオスプレイが住宅地を縦横無尽に飛び回り、米兵による犯罪が日常的に起きるといふ沖縄の現実、それを容認する日本政府は許せません。

また、「極めて遺憾」「言語道断」と述べるだけの日本政府の姿勢は、米軍への圧力、抑止どころか実質的な日本政府による容認の表明であり、沖縄県民、国民に背を向けるものと言えます。

## 事実上容認する日本政府

米軍は「綱紀粛正」「夜間外出禁止令」を繰り返すだけで、現実には再発を防止するどころか、なんの歯止めにもなっていないことは既に明らかです。今回の事件は、再発を防止するには基地を撤去する以外にないことを、米軍自身が示したともいえます。

10月16日米海軍兵2人による集団強姦(ごうかん)致傷事件が起きてわずか2週間。再び11月2日未明に、米軍嘉手納基地に所属する24歳の米兵が女性会社員宅に侵入し、屋内にいた男子中学生に暴行を加えるという事件が起きました。

**繰り返される暴行事件  
私たちは、強く抗議します**



## 米海兵隊の危険な欠陥機



オスプレイ(米軍ホームページより)

# オスプレイ配備撤回を

野田内閣は、沖縄県民と国民の意思を無視して、アメリカ海兵隊の輸送機MV22オスプレイの沖縄・普天間基地への配備を強行しようとしています。野田内閣は9月19日にオスプレイの「安全宣言」をおこないましたが、墜落の危険への不安は解消されていません。

### 世界一の欠陥機

オスプレイは、開発段階から墜落事故を繰り返し、36人の死者を出した欠陥機です。今年になってからもモロッコとフロリダで墜落しています。

また、オスプレイにはエンジン停止の際の安全装置(オートローテーション)もありません。これがないヘリは日本の航空法では、空を飛ぶことはできません。こんな欠陥機を、日本の空に飛ばすことは絶対に認められません。

### 全国に墜落の危険と爆音被害

オスプレイは、沖縄と日本全国で、低空飛行訓練と夜間訓練をおこなう

としています。

日本政府の「安全宣言」は、「可能な限り人口密集地を避ける」と言っていますが、米軍はこれまでも人口密集地での低空訓練をおこない、墜落事故も繰り返されてきました。

9月21日から強行されている「試験飛行」で小学校上空を低空飛行するなど早くも問題が発生しています。

「オスプレイの配備と訓練を撤回せよ」の声を広げましょう。

### オスプレイは日本全土で訓練



(安保廃棄中央実行委員会：資料)